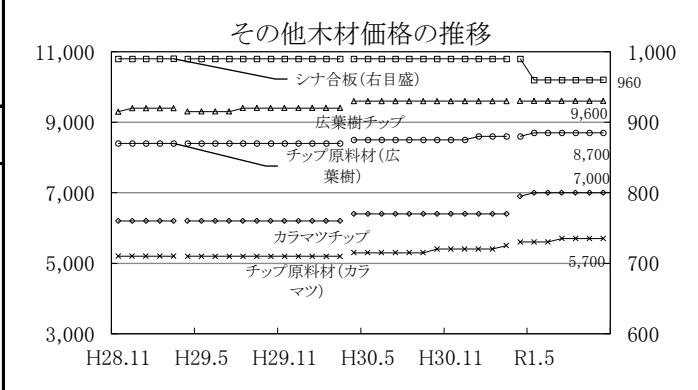
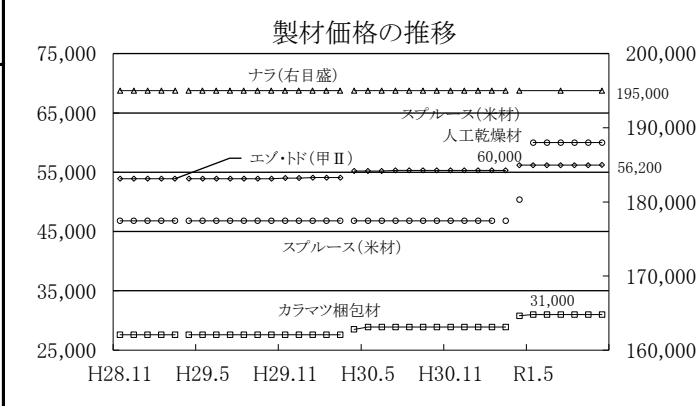
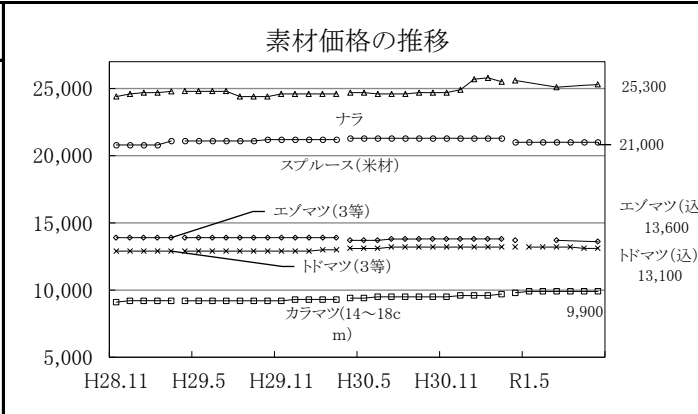


道内の木材市況概況(令和元年10月)

資料3

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向
素材	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,100	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、概ね順調に入荷している。一部地域で林道の状態が悪く、運材が滞っている。市況は弱保合~保合。 ・カラマツ原木は、入荷は概ね順調だが、地域によってばらつきがあり適木不足がみられる。市況は保合~強保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種によって弱保合~強保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の9月の輸入量は6千m ³ (前月0千m ³ ・前年同月6千m ³)。9月末港頭在荷量は11千m ³ (前月比162%・前年同月比179%)。
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,900	0	
	カラマツ	径20~28cm 長3.65m 品等込	工場着	11,200	0	
	*エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,600	△100	
	*ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	25,300	200	
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	21,000	0	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	56,200	0	(道産材) ・エゾ・トド製材の荷動きは製品ごとに異なり、建築材は概ね例年どおりだが、梱包材は減少傾向にある。市況は保合。 ・カラマツ梱包材・パレットの荷動きはやや陰りがみられる。集成材ラミナの動きは少量となっている。市況は保合~強保合。 (住宅着工戸数) ・9月の新設住宅着工戸数は前年同月比87%。 (外国産材) ・米材製材の9月の輸入量は1千m ³ で前月比90%、前年同月比59%。9月末港頭在荷量5千m ³ で前月比99%、前年同月比77%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	31,000	0	
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	195,000	0	
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込 人工乾燥材	港頭オントラ	60,000	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	960	0	市況は保合。
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,700	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,700	0	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	7,000	0	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,600	0	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。
 注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。
 注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。
 注4 四半期項目(樹種名の前に「*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。
 注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3~4月価格は接続しないで表示する。